

雨戸が空いていたら いつでもどうぞ!ミニデイサービス 小さな集い・サテライトサロン

第18回 みんな集合! 音楽で一日楽しく遊ぼう!



南西部消防音楽隊とパーカッションチームとのコラボ復活(コロナ禍)2年目は、埼玉県文化振興基金助成事業として、12月15日(日)13:30~15:30 ゆめばれす1F リハーサル室1&2をフル活用して開催した。一般参加者も限定しないでPRした。会場は130余人と多く、大勢が最後まで残って、一緒に歌い、演奏して、うれしい時間の共有ができた。月例会での会場確保が難しかった今年は、例会毎に全員参加で意見を出し合って手作り感の強い催事となった。共演団体・グループはまめに連絡取り合い一堂に会しての会議はできなかったが、しっかり息の合った集いが成立。総合司会進行も高校2年生と若返って、後輩に励みとなった。

新規事業

出前講座スタート



マンション自治会
講師4名でスマホ



ドラムサークル
虹の歯科健康まつり・90歳超えた方も

スマホ 自治会・町内会の役割は時代に沿いながら変容しているが、運営担い手不足で加盟率も減少している。そのような折に自治会が工夫して、担い手の役割を減らす工夫や出かけなくても学べるプログラムをと、出前講座を活用された。講師4人チームで訪問。

(7月27日)。和光市役所協働推進課と公益財団法人いきいき埼玉の協働事業で「LINE講座応用・・・オープンチャットを活用した情報発信」対象者が自治会・地域活動団体という講師依頼で、準備を重ね、森本剛志会員(デジタル推進委員)が講師で出向いた。(12月10日)助手は、職員の方々に、活発な受講風景に充実感を得られた。(ドラムサークルは次頁に詳細を)

Friendly Relationship through Pictures Malaysia & Japan

絵を通じての友好

第74回 絵を通じての友好 マレーシアへ提供作品

交流参加校長先生宛に依頼書をお届けした。(12月第2週)締め切りは1月末迄にというお願いである。第73回国際友好賞状へのペナン州教育局長ご署名を頂いたので、印刷発注し、1月中旬には描き手の作品写真添付で各学校経由で描き手に届く予定。ペナン州は次回日本に届ける作品収集に奔走中である由。



9月7日 人生100年時代に向けて 高齢者の多様な生き方と Well-being 基調講演・・・野島正也文教大学名誉教授



発行 認定・埼玉県指定特定非営利活動法人メイあさかセンター (MAY Asaka Center)
住所〒351-0011 埼玉県朝霞市本町2-7-17 電話 048-468-6972 Fax 048-468-7088
URL <http://www.mayasaka.net> E-mail mayasaka@mayasaka.net
会費・カンパ振込 郵便振込 00130-9-114311 特定非営利活動法人メイあさかセンター
埼玉りそな銀行朝霞支店(普) 3954671 トクティヒエイリカツドウホウジンメイアサカセンター

絵を通じての友好

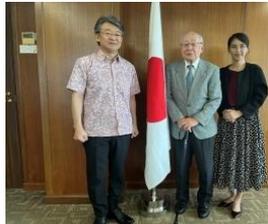
ポストコロナに対応

マレーシアと連絡を密に

マレーシア各地で公的機関との協働事業を続けてきた「絵を通じての友好」プログラムは、コロナ禍を過ぎ、予算的に復活した地域から、変則的ながら交換交流が始まった。幣法人の予算的なこともあり、EMS便やポストージュの活用を試みた。現地の協力者を得ることは大きな力となった。ペナン州教育局とも打ち合わせに訪問。2024年10月18日～尾池理事が、22年1月以来の訪問だった。在ペナン日本国総領事をも表敬訪問し近況ご報告をさせていただいた。この際もペナン在住日本人で協力者となった橋詰由紀子さんがご同行くださった。



教育省ペナン州教育局前でCHEN指導主事とペナンの協力者と共に



在ペナン日本国川口伊靖総領事様表敬訪問（4年間のご報告）

セランゴール州ゴンバ地方教育事務所管内の取り組みには、嘗て留学生として日本での生活を経験し、日本語の堪能な許兆良氏が手を上げて下さった。

72回・73回&74回の取り組み 常時複数回を並行して作業を進めている

72回・・・作品題名のマレーシア語翻訳をお願いしていたボランティアの方から仕上がってきたのでネームカード作成。作品または台紙に貼り付け。マレーシアへお届けできる状態で待機中。

73回・・・夏休み前に作品のご提供を頂き、作品写真どり、マレーシア各地への贈り先選別をし、マレーシア語翻訳ボランティアの方々に依頼をした。ユニークな題名が多いので翻訳の方々も工夫と楽しみを繰り返しながら苦勞、活躍されている。「国際友好賞状」マレーシアの各地区の局長職の人事異動も多くタイムリーに印刷ということが難しい。

74回・・・12月中旬ながら依頼書を持参した各交流参加校に、気持ち良く受け入れていただき感謝。1月末の作品到着が楽しみである。

マレーシアの作品と国際友好賞状・・・本年は、年度当初の予定時期より遅れ気味だったが何とか間に合うようにお届けできた。

マレーシアへの作品お届け・・・7月（EMS便）
ゴンバ=360点 ペナン=550点送付済み。

マレーシア中学生来日・元気に交流

笹目中学校&TZU CHI INTERNATIONAL SCHOOL



2024年12月2日（月）早朝から、在マレーシアクアラランプールのツーチー国際学校が20名の生徒と3名の引率教師と共に笹目中学校を訪問。英語による教室での交流。両校からの学校紹介に続き、各教室にて英語での交流を通じ国際理解に供した。「国際友好学生交流プログラム終了証」を、高田ひろみ校長とメイあさかセンター代表理事の署名にて付与。絵を通じての友好で培ったコーディネート力が活かされ、理事達でインドネシアからの訪問に続き成果を出せた。



人生100年時代に向けて

高齢者の多様な生き方と Well-being

基調講演で伝わったメッセージ**仕合わせ**という概念を心にとめながら私たちの高齢者ウェルビーイングの学習が始まった。学びを通じ出会った弱いつながりから、さらに強いつながりの外側に人間関係を広げ、地域も社会関係も広げることで、人はもっと地域で元気に。地域も元気になるという人生100年時代を見据えての学習を。

第2回学習会 10月19日 卒寿を超えた先輩方から学ぶ



立山瑠璃様(93歳)
今井明様(90歳)

朝霞在住60年と長いお二方。人生の最盛期を生き抜いてきたが、まだまだ一日一日を大切に学びと地域に生きることを続けたい。世界でも女性の地位が低い日本で、努力して時代の先陣で管理職を全うされ、健康で貰って90%充足ということばに励まされた。



田邊雅也校長
朝霞第六小学校

第3回学習会 11月16日

コミュニティスクールと連携・協働・シニア体験を 「三方よしのウェルビーイング」

「絵を通じての友好」の取り組みを、道徳・図工・総合的な学習の時間と、高齢者が授業に入り良い時間を共有した。現在、地域に拡散多くの協働が成功。

第4回学習会 1月18日

☆将来の朝霞ってどんなまち？あさか学習お届け講座

高齢者・障がい者の支援に係わる事業

朝霞市高齢者生きがい活動支援通所補助金事業・療育音楽を楽しむ会・・・etc.

小さな集い

本町

月例会・ミニデイサービス サテライトサロン

本町会場（月例会での音楽療法・ミニデイは毎日開設）

2001年自前で借りた一軒家。制度に包括されてから20年余、最高齢者は97歳だった。人生100年という今は、100歳を超えた方が多くなっていらっしゃると思いますが、ミニデイサービス・月例会にはまだ記録されない。現在96歳の方が最高齢で、月例会には時たま3世代で参加して下さる。ミニデイには93歳・92歳とお元気に通所されてる方もおられる。

手芸に、折り紙にボランティア活動に、さらに、夏休みには高校生や大学生のボランティア体験の方々とも交流し、日々ミニデイの準備やボランティアで訪れる方々との交流も大きな楽しみで相互効果大である。

サテライトサロン（在籍者数が40名を超えた。）

開設目的にあった「学びでのいきがい作りと男性高齢者の外出契機作り」ということに近づいてきた感のする程に、男性参加者が増えている。90歳・92歳と、年齢を重ねておられてなお、学び外出されている姿に講師達は、自宅におられても一生懸命工夫を重ねて当日対応してくださっている。

脳活英会話Bコース・木曜日 14:50～

パソコンレッスン・・・月曜日 13:00～15:50

スマホサロン・・・水曜日（1・3週）9:30～12:20

（2・4週）10:00～12:00

金曜日 13:00～4:20

小さなスマホ教室・・・金曜日・・・9:30～11:30

学びの場が居場所に・・・天候も気にせず、せつせと通所されて、90歳目前にバイク通所を辞められた方。スマホでのLINEに既読が付かないことで講師が心配して民生委員とも連絡して安否確認できたこと。通所予約時刻でなくても早朝から来所。時には講師と共に弁当持参でおしゃべりを。ご本人の要望で時折見守りを。パソコンレッスンは、個別指導につき講師不足でボランティア助手を募集中。英会話は女性陣が息の合うグループとなり実力増進中。総務省デジタル活用支援講習会場に提供。（森本剛志講師）8月から5か月間実施。参加費無料8名という少人数で定着率も高かった。その中から多くの方がサロンに移行されたことは効果的な事業だった。

療育音楽を楽しむ会

障がい児・者も保護者も高齢者も主体的に参画！

毎月第四土曜日午後、30名前後のメンバーが中央公民館音楽室に集う。心身の障がいの有無に関係なく、年齢の違いも関係なく役割を担い、メンバーの他にも多くのボランティアの方々にお世話になりながら続けて来た。今年も小学4年生の新人が参加。先輩から引き継ぎ、役割も担っている。療育音楽を基本にリハビリテーションをしながら、ドラムサークルで元気いっぱい！自信も付き楽しい時間を共有できる。インストラクターと助手、や音楽大好きの方々の連携も良く頼もしい会に成長している。本年は、会場確保に苦勞の一年だった。



いろいろな楽器を駆使して歌と合奏・ドラムサークル



みんな集合！若者がオープニング演奏・混声合唱団が応援歌唱

出前講座について

ドラムサークル&スマホ講座



蕨市放課後児童クラブ（重心型きいとすまいる様へ）8月。12月みんな集合！に参加されました。

12月10日和光市役所でスマホ出前講座

参加者が輪になって、その場で作り上げるパーカッションのアンサンブル。太鼓は、たたけば誰でも笑顔になる。みんなが一体感を感じながら、ファシリテーターのリードで進めるみんなが仲間で！

埼玉県芸術文化ふれあい事業バンクにも登録しました。近郊なら学校でもと期待しているところです。





いつも、ご意見
や、感想・ご指
導ありがとうございます。
ございます。

◎『お部屋にマレーシアの児童画が飾ってあって明るくていいですね！』特別養護老人ホーム朝光苑に入所しておられるご主人に面会に行かれた方。◎俺んちに時々寄ってくれよ！寂しいんだよ！・・・スマホ講師は通所日にお寄りして。

◎『朝霞に長く住んでるのに、こんな素晴らしい集いがあるのを知らなかった。仲間として楽しみたいです』第18回みんな集合！アンケートより

◎マレーシアサバ州図書館局 HPにうちの子の作品はいつアップされますか？との問い合わせ。順番からだ、と、2025年4月展覧会時ですとお答えお待ちしております。

HP=下記



埼玉県NPO 情報ステーション
NPO コバトンびん・共助社会づくり課による取材で、メイあさかセンターの活動全般情報掲載されている。

これから

世代間交流 もの作り体験教室
時 3月2日(日) 10時~15時
会場 朝霞市ゆめばれす
1階 リハーサル室1&2

第17回という長い歩みのある介護予防関連ネットワークの「小学生対象事業」例年3ブース担当したが、時間が長いので、高齢者の体調も考慮。今年は2ブース(ぶんぶんゴマづくりと遊び・リサイクル布チュールリップ作り)とした。保護者が待っている場所で「国際友好賞状」の説明などもする。

ご寄付者氏名 5~12月

寄付 (敬称略)

木下静香・松尾信一・菅原静代・山田今子・鈴木邦明・鷹野早智子・三枝政男・山下茂・永井文子・栗山昌子・青木孝志・(株)MRCジャパン・秋山澄子・新井卓治・五島さとみ・小野塚通子・今井明・比留間弘子・山口みち子・櫻井真由美・宮本和子・食いち・常盤正春・兵働鏡子・岡崎孝子・広重ウタ子・(株)クラージュ・小野美穂子・尾池富美子・尾池敏之(匿名の方6名)

物品ご提供者 (敬称略)

富岡明美・飯吉朝子・高藤貞代・五島さとみ・小波木笑子・立山瑠璃・山田今子・荒木明月・橋詰由紀子

メイあさかセンター高齢者が卓上募金

赤い羽根募金

能登半島地震被災者のために
彩夏祭

埼玉県文化振興基金

会員・寄付者・ボランティア募集

NPO 法人の貴重な財産となる下記募集いたしてます。

会員(総会時に議決権あります)

個人

3,000円/年 特別会員 30,000円/年

団体・法人

5,000円/年・30,000円/年

寄付者・ボランティア(賛助会員)

ご寄付は、認定取得法人ですので税額控除対象になります。法人は雑損別枠扱いです。ご協力お願いいたします。



あさか介護者サロンほっとの会

(世話人として2名が参画している)
毎月第2木曜日定例会・年間3回テーマを設けて対象者を変えて実施。

8月

*第41回彩夏祭 4~5日

実行委員 総合受付案内担当

*夏休み高校生・大学生ボランティア体験受け入れ・・・14名受け入れ

*中央公民館サマーフェスティバル 8月24~25日 展示・販売・3階発表出演

10月

*16日 駐日マレーシア大使館主催 独立記念日祝いと東南アジア諸国連合(ASEAN)議長国就任の祝賀会に出席 於:フォーシーズンホテル

11月

*2日 ASAKA STREET TERRACE 2024 朝霞駅前商店会会員としてブース出店

*2~3日 マレーシアフェア 豊洲公園他を会場に2日間大賑わい 大使館案内ブースに貸し出し中のマレーシア児童・生徒の絵画が展示されていた。

*17日 子ども大学ミニあさか 店舗出店/出展 久しぶりに出店。ドラムサークル・マレーシア児童画展示・マレーシアゲーム・リサイクル布チュールリップ作り



全国社会福祉大会(主催:厚生労働省 子ども家庭庁 全国社会福祉協議会 中央共同募金会)が行われ、代表理事が全国社会福祉協議会会長賞を拝受。長きにわたる県社協理事を幣法人の活動を基に続けたこと故団体が拝受と活動継続に感謝。

あとがき

ニュース編集が年末からの2年越しになり、新年のご挨拶もお届けできずに即仕事でお詫びいたします。校了となった日には、日本の総理大臣がマレーシア訪問中で、日本とさらに関係の深くなる国との長きにわたる「絵を通じての友好」プログラムを一層長く続けるため、資金確保に努力を祈念して新年に対峙します。
豪雪の地へお見舞いを込めながら。尾池